令和８年度　昭島市立清泉中学校

音楽　年間指導計画・評価規準〔第２学年〕

学期	月	時数	単元名と内容	単元のねらい	観点別評価規準（主たるもの）		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
1学期	4	1	オリエンテーション 校歌	進級を迎え、級友と共に歌う喜びを味わい、音楽学習への関心をもつ。	旋律・強弱を知覚し、音楽の構造や歌詞との内容を理解できている。発声、発音などの技能を身に付ける。	表現にかかわる知識・技能を得て生かしながら歌唱表現を創意工夫し、歌い方について思いや意図をもっている。	学校の歴史や伝統、歌に託された思い、曲想と音楽の構造と歌詞の内容の関わりに関心を持ち主体的に取り組んでいる。
	5	4	日本の歌を歌いつごう 「夏の思い出」 歌唱表現を工夫する 「翼をください」	日本の歌曲について知り、歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫する技能を身に付ける。パートの役割を理解して、歌唱表現を工夫する。	旋律・強弱を知覚し、音楽の構造や歌詞の内容と背景との関わりを理解できている。発声、発音などの技能を身に付ける。	表現にかかわる知識・技能を得て生かしながら歌唱表現を創意工夫し、歌い方について思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造と歌詞の内容のかかわりに関心をもち、創意工夫を生かして歌う学習に主体的に取り組んでいる。
	6	3	パイプオルガンの響きを味わう 「フーガ　ト短調」	パイプオルガンの響きや、旋律の重なり合いを理解して、その音楽のよさや美しさを味わう。	曲想と構造との関わりや、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりを理解している。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲に対する評価とその理由について考え、この曲の良さや美しさを味わって聴いている。	曲想や構造との関わり、曲の特徴や背景との関わり、曲に対する評価とその理由に関心をもち、主体的に鑑賞に取り組んでいる。
	7	3	混声合唱の響き	旋律やリズム、構成を知覚・理解し、曲想と音楽の構造や歌詞の内容のかかわりを理解しながら、表現を工夫して歌う。	旋律の動きや強弱、曲調の変化に合わせた表現や全体の響きと各声部の声を意識しながら歌唱表現するための技能を身につけている。	表現にかかわる知識・技能を得て生かしながら歌唱表現を創意工夫し、歌い方について思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造と歌詞の内容のかかわりに関心をもち、創意工夫を生かして歌う学習に主体的に取り組んでいる。
2学期	9	6	合唱・合奏の喜び	合唱・合奏活動を通し、曲の魅力を引き出すように工夫して、仲間と作品を作り上げる。	旋律の動きや強弱、曲調の変化に合わせた表現や全体の響きと各パートの声や音色を意識しながら演奏するための技能を身につけている。	表現にかかわる知識・技能を得て生かしながら表現を創意工夫し、演奏のし方について思いや意図をもっている。	曲想や音楽の構造と歌詞の内容のかかわりに関心をもち、創意工夫を生かして演奏活動に主体的に取り組んでいる。
	10	4	オーケストラの響き 「交響曲第五番ハ短調」	管弦楽の豊かな響きや楽曲の背景、多様な構成要素を理解して聴く。	曲想と構造との関わりや、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりを理解している。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲に対する評価とその理由について考え、この曲の良さや美しさを味わって聴いている。	曲想や構造との関わり、曲の特徴や背景との関わり、曲に対する評価とその理由に関心をもち、主体的に鑑賞に取り組んでいる。
	11	3	メロディ創作	リズムに合わせて自由な発想でメロディを作り、演奏する。	旋律やリズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら音のつなげ方や記譜のの仕方などの技法を身につけている。	創作表現の知識や技能を得たり生かしたりしながら創意工夫し、どのように旋律を作るかについて思いや意図をもっている。	旋律やリズムのつながり方、構成上の特徴に関心をもち、簡単な旋律をつくる学習に主体的に取り組んでいる。
	12	2	カンツォーネを楽しむ 「サンタルチア」	イタリアの民謡「カンツォーネ」に触れ、文化や背景を理解し、音楽として体感する。	音色や旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。曲の美しさを表現する発声、発音などの技能を身に着けている。	歌唱表現にかかわる知識・技能を得て生かしながら歌唱表現を創意工夫し思いや意図をもっている。	カンツォーネの曲想やリズム、メロディの動きの効果を感受し、表現するために工夫することに関心をもち主体的に取り組んでいる。
3学期		2	和楽器の体験 箏実習「さくら」	伝統音楽に親しみ、楽器の特性を活かし、美しく豊かな表現をすることに意欲的に取り組む。	音色や旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。箏の音色や響きと奏法との関係を理解している。	演奏表現にかかわる知識・技能を得て生かしながら演奏表現を創意工夫し思いや意図をもっている。	箏の音色や特徴、演奏することに興味を持ち、主体的に取り組んでいる。
	1	2	日本の伝統音楽 長唄を楽しむ 「歌舞伎 『勧進帳』」	文学、演劇、音楽が融合した「歌舞伎」を通して、伝統文化のよさを味わい、長唄を体感する。	歌舞伎の歴史的背景を理解し、総合芸術としての様々な要素について理解している。長唄にふさわしい歌唱表現に必要な技能を身につけている。	歌舞伎に対する評価と、その理由について考え、よさや美しさを味わって鑑賞している。長唄をどのように歌うかについて思いや意図をもっている。	「長唄」の声の音色、言葉の特性、曲種に応じた発声との関わりに興味をもち、工夫して歌唱表現したり鑑賞することに主体的に取り組んでいる。
	2	3	オペラに親しむ 「アイーダ」	総合的な舞台芸術「オペラ」についての知識を深め、ドラマチックな表現を味わう。	文学・演劇と融合し、内容を表現する歌声の音色や響き、言葉の特性と曲調に応じた歌い方を理解している。	鑑賞に関わる知識を学び、曲に対する評価と、その理由について考え、総合芸術の良さや美しさを味わって聴いている。	文学や演劇と融合し、内容を音楽で表現する歌声の音色や響き、言葉の特性と曲調に応じた歌い方、総合芸術としてのオペラに関心をもち主体的に取り組んでいる。
	3	2	別れと音楽 混声合唱	共に過ごした級友との別れの時期に、心のこもった合唱表現をする。	旋律・強弱を知覚し、音楽の構造や歌詞との内容を理解できている。曲の美しさを表現する発声、発音などの技能を身に付けている。	表現にかかわる知識・技能を得て生かしながら歌唱表現を創意工夫し、歌い方について思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造と歌詞の内容のかかわりに関心をもち、創意工夫を生かして歌う学習に主体的に取り組んでいる。
合計		35		評価方法	観察、ワークシート、実技テスト、定期テスト	観察、ワークシート、鑑賞文、定期テスト	観察、ワークシート